

府中市(中国ブロック)

【2期 計画期間 25年4月～30年3月】

・～大正 : 律令時代に備後国府がおかれ、江戸時代からは藍、桐、蒟蒻、繊維、木工、食品などの家内工業が発達。明治期には官営府中煙草製造所が創業し、中心市街地への都市機能集積が進む。
 ・昭和～ : 木工、繊維、化学など多様な地場産業が集積し、昼間人口が夜間人口を上回る一方で、郊外への人口スプロール化が進展。

【1期計画の概要】(H19～H23年度)

- 「コンパクトで賑わいのあるまちづくり」を推進し、JT府中工場跡地に、周辺校を統合する小中一体型校舎(府中学園)を整備する等、教育環境整備による居住促進策を実施。
- 中心市街地内に賑わいと交流の拠点を整備するために、国登録有形文化財である老舗割烹旅館「恋しき」の保存・再生事業等を実施。

【中心市街地の変化】

- 居住促進策や賑わい交流拠点の整備等により、各指標ともに目標達成または改善傾向にある一方で、商業重点地区の活性化や、駅南地区の賑わい創出等が課題として残る。

【目指す中心市街地像】

- **生活支援機能が集約的に立地し、にぎわいと回遊性を兼ね備えた都市全体の生活拠点となるまち(生活中心街)。**

【1期計画目標】

目標	指標	基準値	目標値	現況値
賑わいの創出	歩行者・自転車通行量(平日)	4,284人(H18)	5,600人(H23)	5,818人(H23)
	商業集積地区の商店の数	256店舗(H18)	256店舗(H23)	257店舗(H23)
歩いて暮らせる地域の形成	商業集積地区の商店の質	3.1P(H19)	3.1P(H23)	3.6P(H23)
	人口動態(社会動態)	△49人/年(H12～17平均)	±0人/年(H19～23平均)	△42人/年(H19～23平均)

【2期計画目標】

目標	指標	基準値	目標値
賑わいの創出	歩行者・自転車通行量(平日)	7,306人(H24)	8,000人(H29)
	歩行者・自転車通行量(休日)	2,206人(H24)	2,700人(H29)
	府中ぐるっとバス平均利用者数	47人/日(H23)	119人/日(H29)
歩いて暮らせる地域の形成	商業重点地区の商店の数	241店舗(H24)	257店舗(H29)
	人口動態(社会動態)	△42人/年(H19～23平均)	±0人/年(H29年度)

■「賑わいの創出」

⇒ ①まちなか型ショッピングモール再編整備事業、②地域交流センター整備事業、③公共交通利便増進プロジェクト、など

■「歩いて暮らせる地域の形成」

⇒ ④府中市まちなか活性化支援制度、⑤サービス付き高齢者専用住宅「あいあい府中駅西」建設事業、など

府中市中心市街地活性化基本計画の事業概要

歩いて暮らせる地域の形成
～安心して便利に歩いて暮らせる中心市街地の形成～

○まちなか活性化支援事業(①)

対象エリアに立地する**公益施設や商業施設の建築改修等**に対して支援措置を実施し、**施設誘致を促進**。

【支援制度の概要】

- 公益施設建設促進事業：
公益施設の建築に際し最大1,000万円補助。
- 商業施設建設促進事業：
商業施設の建築に際し最大400万円、
商業施設の改修に最大50万円補助。
- 活性化促進支援事業：
まちなかの活性化に寄与する活動や勉強会を行う団体に対し25万円まで補助。

○サービス付き高齢者専用住宅「あいあい府中駅西」建設事業(②)

駅南商業地域に**高齢者専用住宅施設(高専賃46戸、デイ60人)**を整備。

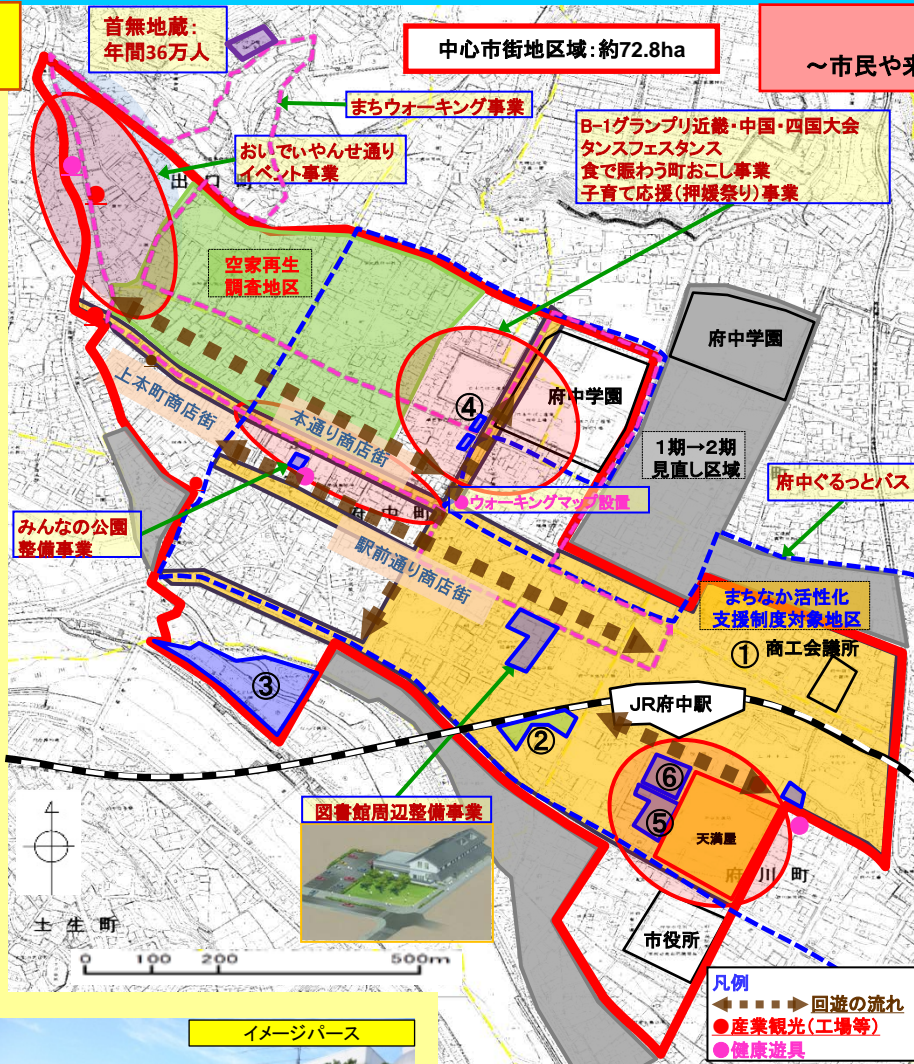
イメージバス



○POM子育て世代活動支援センター整備事業(③)

市内外から年間12万人の利用者を集める「POMこどもの国」施設について、**子育て世代活動支援機能を付加する建替整備を実施**。

イメージバス



賑わいの創出
～市民や来街者が集い交流する魅力ある中心市街地の形成～

○地域交流センター整備事業(④)

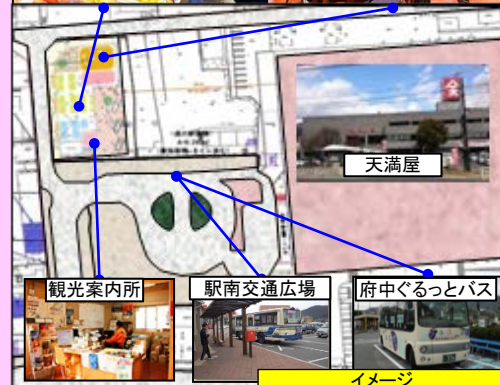
1期計画で整備した「恋しき」の周辺地区に、**地域交流センター及びその一部として「まちおこし観光センター(府中焼き鉄板村)」を整備**。

イメージバス



○公共交通利便増進プロジェクト(⑤)

駅南交通広場整備に併せて、**高速バス・市内循環バスの乗り入れやバスロケーションシステム等**を導入。



○まちなか型ショッピングモール再編整備事業(⑥)

市場の再編整備に併せて、**新規テナント誘致と交通広場の整備**を一体的に行い、**駅南地区に新たな商業拠点**を創出。